



2019年12月7日(土)

女性チャンネル♪



世界で活躍するメイクアップアーティストピカ子による メイクアップレッスン&トークショー

12月7日(土)に女性チャンネル♪ LaLaTV とケーブルテレビ局3局合同イベント『ピカ子によるメイクアップレッスン&トークショー』をイオンモール津南のイオンホールで開催いたしました。イベント当日は、この冬一番という冷え込んだ日でしたが、60名以上のお客様にご参加いただきました。そのイベントの様子をご紹介します。



12:30 会場での受付スタート

普段テレビ番組などで活躍されている人気メイクアップアーティストのピカ子さんを間近で見ようと、受付開始とともにご入場いただいたお客様もみえ、イベント開始前には会場は一杯となりました。



13:00 イベントスタート

いよいよピカ子さんの登場！袖がシースルーの黒いブラウスと黒いパンツ姿で颯爽と登場。テレビで見るよりも背が高く、立ち姿に貫録がありました！

今回のショーは、伊賀上野ケーブルテレビの女性社員がモデルとなり、ピカ子さんがステージ上で実際にメイクを実演しながらレッスンするというスタイルでした。

ご来場いただいた皆さんは、ピカ子さんの茶目っ気たっぷりな辛口トークや、今まで常識と思っていたメイク方法を覆す、目からうろこのようなメイク術に、メモをとったり、うなずいたり、熱心に耳を傾けていました。



メイクが完成すると、モデルさんに会場をぐるっと歩いてもらいました。メイク後のきれいな仕上がりを間近で確認していただき、ピカ子さんのメイク効果を実感していただきました。

続いて、お客様の中から1名だけピカ子さんにメイクしていただけることになりました。壇上にあがったお客様の顔をじっとみていたピカ子さん、「よし！」と言うと、黒のアイラインを描き足し、「眉も足りないなあ〜」とつぶやくと、ペンシルとパウダーで眉を描き足していきました。するとどうでしょう！

黒で引き締まった目元と、はっきりとした眉でさっきより肌の色が明るくみえました。そして最後にセミマットのバーガンディ(ワイン色)のリップを塗ると、一段と肌がきれいに見え、お客様も仕上がった鏡の中の自分を見て、表情が驚きから笑顔へかわっていきました。ピカ子さんのメイク術、恐るべしです。



その後、お客様からの質問に丁寧に答えていただき、最後は抽選会。当選された方には、女性チャンネル♪ LaLaTV のまげわっばやワッフルメーカー、そしてピカ子さんプロデュースのコスメブランド「ラ・メイキャ」のメイクセットがプレゼントされました。おめでとうございます！



あっという間の2時間でしたが、皆さんの熱心にメモを取る姿に、きっと今日ご来場いただいた皆さんは、習得したピカ子流メイク術で、今のトレンドメイクでステキな笑顔の毎日を過ごしていることと思います。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました😊





✿ ピカ子さんのメイクレッスンの内容をご紹介します！ ✿

1. 下地について

昔はベージュ色でしたが、今のトレンドは淡いピンク色の下地を使用。これは肌をきれいに見せる色で、肌に塗る時には、素手でぬらずブラシなどのツールを使う。下地はすっぴんの格上げをイメージして。

2. ファンデーション

ピカ子さん流パウダーとリキットの使い分けは、短い時間だけきれいに見せるならリキット、長時間になる場合は、パウダーを使用。最近のパウダーは品質も良くなり、持ちがいいので、塞いだ感のない綺麗な仕上がりになる。パウダーをつける時は、平打ちのブラシ（ピカ子さんの愛用は熊野筆）を使用。ファンデーションに付いてくるスポンジはお直しの時に使う。塗り方は、顔の側面をしっかりと、顔の中心は軽く塗る。そうすると厚化粧にみえない。

3. ハイライト

ハイライトに使う色は、肌より暗めのオレンジシャンパンなど濃いブラウンを使う。昔は白を使っていたけど、今は白のハイライトは選ばない。つける場所は、ファンデーションを薄く塗ってある顔の中心部分の目元、おでこ、鼻筋にのせる。中心に暗い色を置くことで、くすみを飛ばすことができる。また、顎をシャープに見せたいときは、下唇の下にもハイライトをのせるといい。

4. チーク

チークはファンデーションなどで色味を抑えてしまった分、人工的に血色を戻す役割があるので、健康的な色を選ぶ。今回は、ビビットな、どぎついピンク色をチョイス。フレッシュなきつい色をつかうことによって、量が少なくても厚塗りにならない効果が。塗る場所はブラシを使って顔全体。ファンデーションの時と同じように、側面は厚く、中心はごく薄く塗る。

5. 眉

健康的な眉は年齢を若く見せる効果があり、色は濃いめのブラックブラウン、漆黒に近い黒を選ぶ。まずペン先の細いアイブローで眉の下から1 mm くらいの位置をしっかりと長めに描く。その後、眉の隙間をちよつとずつ埋めるように描く。眉頭はあえてさわらない。自然な眉頭を生かしつつ、外側から少しずつ眉頭に向かって描いていく。最後に描いたアイブローの油分を抑えるために、パウダータイプのアイブローで仕上げる。

6. アイシャドー

眉を濃い色で攻めた分、アイシャドーは控えめにするのがピカ子流。グラデーションを使って濃い色のアイシャドーを入れるのは、バブリーな昔のメイク。今は単色で淡い色を全体的に使う。今回は、グレーピンクをまぶた全体に。もし、どうしても引き締め色を使いたいなら、暖色系のオレンジなどが入ったブラウンを瞼のくぼみに使う。

7. アイライン

アイラインはジェルラインと呼ばれるにじまないもので、濃い黒色を使用。年と共に眼球の白が汚い白になってくるので、白をきれいに見せる効果がある。インラインとマスカラをつけたまつ毛の隙間を埋めるように描く。

8. マスカラ

ビューラーは使わず、毛先の長いマスカラを使って根元から毛先に向かって自然に持ち上げる。

9. リップ

グロスを使わない。くすんだ唇を隠すためにセミマットのリップを使用。今回モデルのために選んだ色はブラウンレッド。唇のラインはいびつなので、筆を使って下唇から上唇へ、丁寧にラインを描いてから塗る。